

〇〇もんずら

奥島教育長コラム No.8 2023. 11. 1



ひとつの秘密・・・それは

とてもとてもふしぎな、それでいてきわめて日常的なひとつの秘密があります。すべての人間はそれにかかわりあい、それをよく知っていますが、そのことを考えてみる人はほとんどいません。たいていの人はその分けまえをもらうだけもらって、それをいっこうにふしぎとも思わないのです。この秘密とは——それは [] です。

[] をはかるにはカレンダーや時計がありますが、はかってみたところであまり意味はありません。というのは、だれも知っているとおりに、その [] にどんなことがあったかによって、わずかに [] でも永遠の長さに感じられることもあれば、ほんの一瞬と思えることもあるからです。

なぜなら [] とは、生きるということ、そのものだからです。そして人のいのちは心を住みかとしているからです。【ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳 『モモ』

6章 インチキで人をまるめこむ計算 より】



いのちとは、「君たちのもっている []」「君たちが使える []」のことで。君たちは毎日、その [] を使って、ねむったり、食べたり、運動したり、バスケットをやったり、宿題をししたりしています。[] を使うこと、それはいのちを使うことなのです。

いのちも [] も目には見えないけれど、君たちはそれをもっていて使うことができます。これから先、まだまだたくさんもっている君たちの [] は、君たちのいのちなのです。そのいのちを君たちはどう使っていますか？

【日野原 重明 『いのちのバトン～君へ』 より】

※ [] にはどんな言葉が入るのか... 秘密とは？ 奥島

自分の手で、自分の／一日をつかむ。／新鮮な一日をつかむんだ。

おさだ ひろし
【長田 弘 『食卓一期一会』 より】